

原子燃料工業(株) 東海事業所 サイトレポート情報

所在地 : 茨城県那珂郡東海村村松 3135番地41

敷地面積 : 約 150,000 m²、建家面積 : 約21,000 m²、緑化率 : 26.0 %

設立 : 1980年1月、従業員 : 約150人 (2020年4月現在)

主要製品 : 軽水炉用原子燃料

ISO14001 認証取得 : 2001年11月、認証返上 : 2017年11月



ごあいさつ

原子燃料工業(株)東海事業所は、軽水炉(BWR)用原子燃料の製造、高温ガス炉用燃料の研究・試作を行う設備・施設を有しています。
環境に優しい事業所を目指し、原子力固有である放射性物質の発生抑制・管理及び放射線の低減を含めた環境保全に全員参加で取り組んでいます。
大きな自然災害に対して、更に強い事業所(環境に悪い影響を与えない)にするべく、取り組んでいます。



環境保全責任者(所長) 大平 幸一

2019年度の環境の主な取組み

- ☆電気使用量
2010年度比 9%削減目標達成(使用量ベース)
- ☆水使用量原単位の改善
2020年度比 9%削減目標達成(使用量ベース)
- ☆地域環境活動への積極的参加
東海村クリーン作戦へ年 2回参加し清掃を実施
- ☆環境保全機器の維持・改善活動
環境リスクを特定し、リスクの低減と万々に備えた対応力強化
- ☆環境保全教育の実施
東海事業所全従業員を集めた環境・省エネルギー教育を年 2回実施
- ☆省エネルギー活動
事務棟内の不要電灯の消灯、高効率照明器具への更新、高効率モーターへの更新
- ☆廃棄物の発生抑制
2010年度比 9%削減目標達成(発生量ベース)
- ☆化学物質排出量の削減
2010年度比 9%削減目標達成(排出量ベース)

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

■燃料事業

- 軽水炉(BWR)用原子燃料の開発・設計及び製造
- 軽水炉(BWR)の安全解析
- 高温ガス炉(HTR)用燃料の研究及び試作

私たちは、地球温暖化の原因となるCO₂を排出しない原子力発電の燃料を製造しています。
原子燃料の製造においては廃棄物の発生抑制に努めております。



2020年度 原子燃料工業(株) 東海事業所 環境方針

私たちは、東芝グループ環境基本方針並びに当社の経営理念及び環境・安全指針に則り、以下の方針のもとに環境保全活動に取り組めます。

(基本方針)

1. 環境に配慮した製品及びサービスの提供と地域社会との連携によるクリーン活動を通じて社会に貢献します。
2. 省エネルギー、廃棄物低減の実行を通じて、環境負荷を低減します。
3. 環境関連法令、条例、地元自治体との協定、社内規定その他の要求事項を遵守します。
4. 環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
5. 高い情報の透明性と地域社会からの信頼の向上に取り組めます。

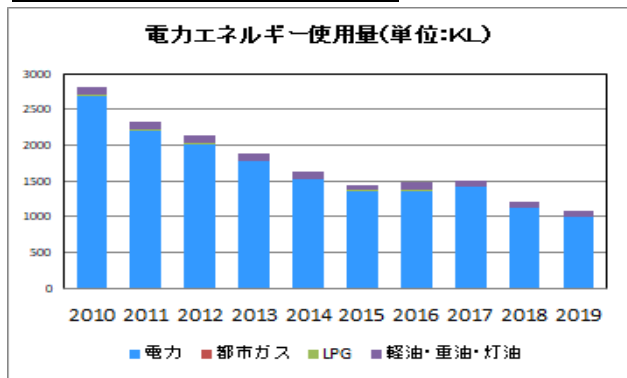
(2020年度重点方針)

法令、条令から要求される許可・届出等及び施設・設備の点検、操作を抜けなく確実に実施することにより、環境汚染の未然防止に努めます。

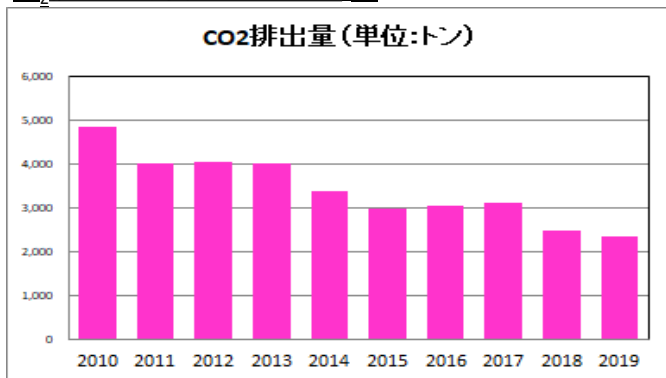
2020年4月1日
原子燃料工業(株) 東海事業所
東海事業所長

環境負荷データ

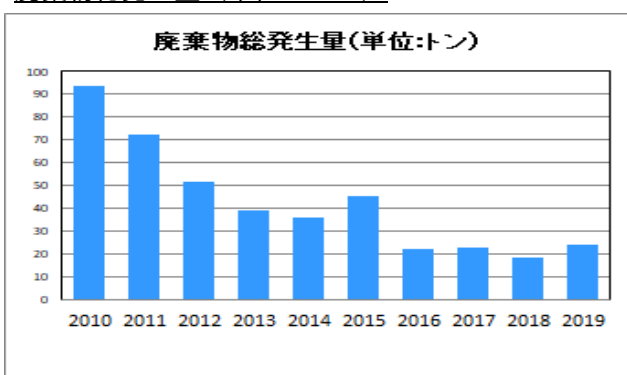
エネルギー使用量 (単位: kL)



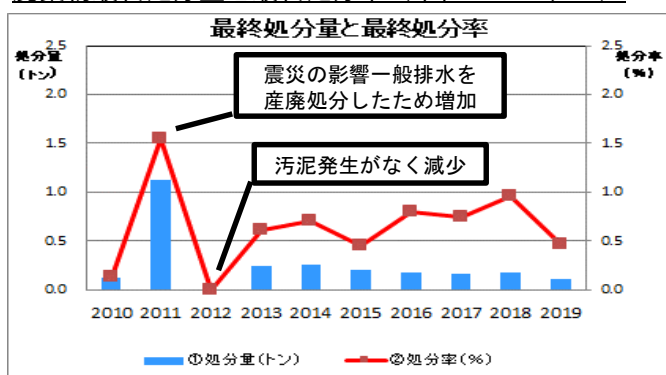
CO₂排出量 (単位: トン-CO₂)



廃棄物総発生量 (単位: トン)

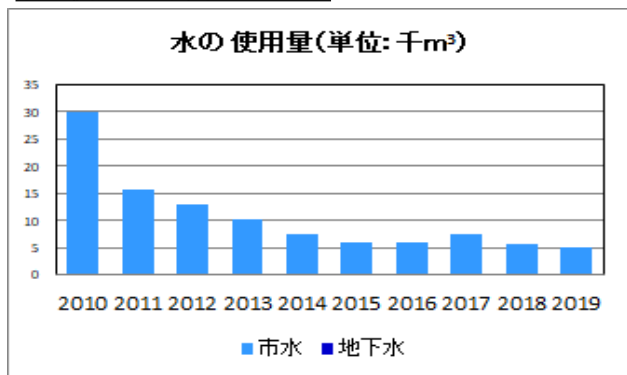


廃棄物最終処分量と最終処分率 (単位: トン、%)

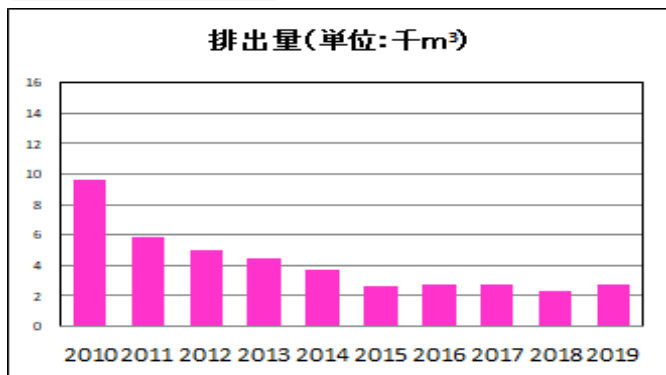


主な廃物名: 木屑、紙屑、金属屑等

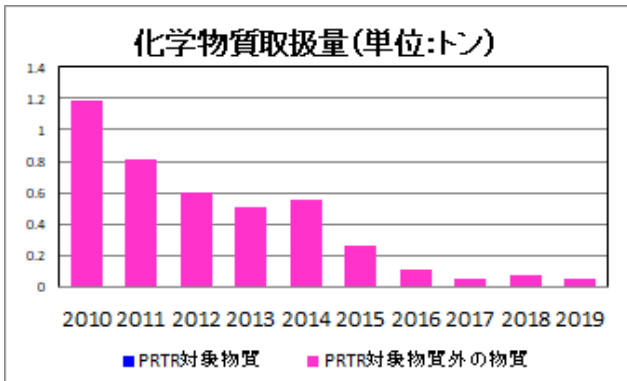
水の使用量 (単位: 千m³)



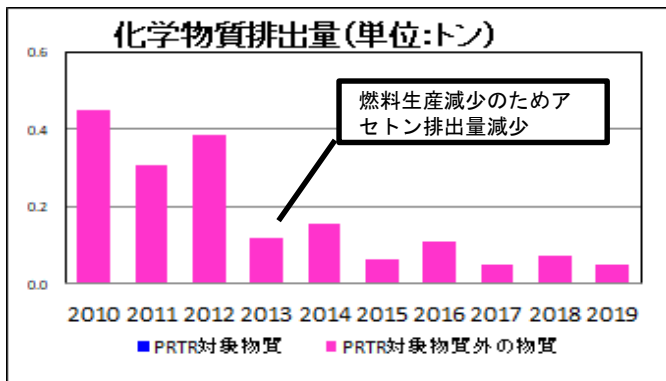
排水量 (単位: 千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量 (トン)



化学物質削減対象物質の排出量 (トン)



主な化学物質: エタノール、アセトン

遵法管理状況

<大気測定結果> 測定日：2019年12月6日

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NO _x (ppm)	180 (大気汚染防止法)	180	85	1回/年
SO _x (Nm ³ /h)	—	—	—	—
ばいじん (mg/Nm ³)	300 (大気汚染防止法)	300	<5	1回/年

<排水測定結果> 2019年度：自主的な測定

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度 (pH)	5.0~9.0 (水質汚濁防止法)	6.1~8.3	6.7~7.4	1回/月
BOD (mg/ℓ)	—	25	[<1.0~25]	1回/月
COD (mg/ℓ)	25 (茨城県条例)	25	2.7~10.0	1回/月
SS (mg/ℓ)	40 (茨城県条例)	20	<1~6	1回/月
窒素 (mg/ℓ)	100 (水質汚濁防止法)	50	5.56~33.8	1回/月
フッ素 (mg/ℓ)	8 (茨城県条例)	4	<0.1~0.1	1回/月

<騒音・振動測定結果> 騒音測定日：2019年6月6日、11月25日、振動測定日：2017年8月1日

	測定場所：時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音 (dB)	敷地境界：昼	75 (茨城県条例)	—	44.9~48.9	2回/年
	敷地境界：夜	65 (茨城県条例)	—	—	2回/年
振動 (dB)	敷地境界：昼	70 (振動規制法)	—	<30~36	特定施設変更時
	敷地境界：夜	60 (振動規制法)	—	—	特定施設変更時

(注) 騒音・振動 敷地境界：夜については、昼稼働時測定値が、夜の規制値以下のため実施せず。

<その他測定結果> (下水道法：該当なし)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度 (pH)	—	—	—	—
BOD (mg/ℓ)	—	—	—	—
SS (mg/ℓ)	—	—	—	—

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし

環境コミュニケーションの紹介

< 緑ヶ丘地区連絡協議会 >

当事業所は、事業所開設以来、30年以上にわたり隣接する緑ヶ丘地区自治会との連絡協議会を開催しております。毎年夏に自治会役員と東海村役場の方々に事業所にお越しいただき、工場見学と事業所の操業、安全等に関する近況説明を実施しております。

(実施概要)

・日時：2019年6月22日（土）



< 東海村クリーン作戦に参加 >

東海村ライオンズクラブと東海村役場の共催による「東海村クリーン作戦」に当社も参加し事業所周辺及び通勤道路等の空き缶やごみ等の一斉回収を行っております。2019年度は、春季と秋季の2回実施致しました。

(実施概要)

< 春季 > 日時：2019年 5月 30日（木）

< 秋季 > 日時：2019年 9月 20日（金）

・参加人数：延34名



< 環境モニタリング状況の公開 >

当事業所では、敷地内の2箇所に放射線測定設備（モニタリングポスト（MP））を設置し、環境放射線測定を行っております。

測定結果は当社ホームページ(<http://www.nfi.co.jp>)で公開するとともに、事業所正門入り口に測定値をリアルタイムで表示し、外部から確認できるようにしております。

(実施概要)

・環境モニタリング結果（1日の平均値）を日積算雨量と共に月毎に公開



0.070 μ Sv/h²

